TeraStation
設定事例集

本書では、TeraStationの次の設定事例を記載しています。

バックアップ、レプリケーション、NAS 設定保存・復元ツール、LAN ポート2 のIP アドレス変更

上記の他にも弊社ホームページには様々な設定事例を案内しています。
次手順でホームページをご参照ください。

バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8006**」と入力し、検索ボタンをクリックしてください。

目次

1. バックアップとレプリケーション

1.1　バックアップとレプリケーションの違い

■ バックアップ機能とは

あらかじめ設定したスケジュールで TeraStation 内のデータを USB ハードディスクや別の TeraStation/LinkStation へコピーする機能です。
下記の長所 / 短所を参照してレプリケーションと使い分けてお使いください。

【P.3「バックアップ」参照】

■ レプリケーション機能とは

2 台の TeraStation で共有フォルダーのファイル同期をとる機能です。
下記の長所 / 短所を参照してバックアップと使い分けてお使いください。

【P.18「レプリケーション」参照】

■ バックアップとレプリケーションの長所 / 短所

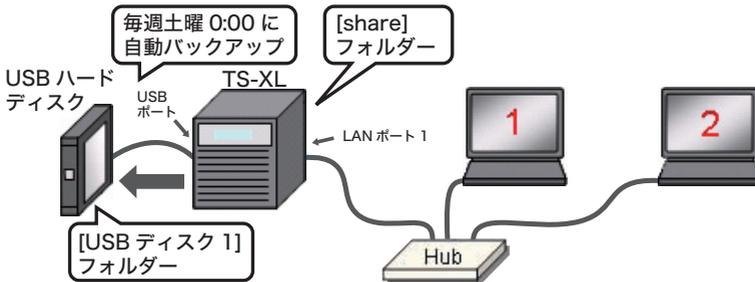
	バックアップ	レプリケーション
長所	世代管理で復元したいデータを保持できます。	ファイル同期しているため、直前のデータまで変更内容が保持されています（ただし、TeraStation の負荷状況によりレプリケーション先への書込みが終了していない場合は変更内容が失われます）。
短所	故障した場合、バックアップを行ったタイミング以降に変更したデータは失われます。	レプリケーション元のデータを削除した場合には、その内容も同期して削除されます。

ある時点のデータとして残しておきたいデータに有用	日々変更を加えるデータに有用

2. バックアップ

2.1　USB ハードディスクに、TeraStation の データを定期的にバックアップするには

TeraStation に増設した USB ハードディスクに、TeraStation の共有フォルダー単位で定期的にバックアップを行うよう、TeraStation に登録します。指定した日時に、自動的にバックアップが行われます。

■イメージ図

≪ご注意≫
増設できる USB ハードディスクについては下記ホームページにてご確認ください。
http://buffalo.jp/taiou/kisyu/item/usb-hdd/

1. TeraStation に USB ハードディスクを取り付け、EXT3 形式でフォーマットします。

※ TeraStation の Web 設定画面 [システム]-[ディスク] で TeraStation に接続した USB ハードディスクを選択し、[ディスクフォーマット] をクリックしてください。フォーマット形式で [EXT3] を選択して [フォーマット] をクリックすると EXT3 形式でフォーマットします。

2. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

[NAS Navigator2] が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

TeraStation アイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。
※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、[Web 設定を開く］をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. [システム] - [バックアップ] をクリックします。

7. [バックアップ設定] - [バックアップタスクの追加] をクリックします。

※バックアップの設定は最大 8 個まで設定できます。ここでは個々の設定をタスクと案内しています。

8. バックアップタスク設定を行います。

タスク名	バックアップタスクの名称を指定します。
バックアップ実行スケジュール	バックアップを行うスケジュールを、[毎日]［毎週］［第1］ などから選択します。
バックアップ実行日時	バックアップを実行する曜日や時刻を選択します。
バックアップ動作モード	バックアップ動作モードを下記から選択します。
・通常バックアップ	全てのファイルがバックアップされます。
・上書きバックアップ（増分バックアップ）	1 度目に全てのデータを、2 度目に増分データのみをバックアップします。バックアップ元でファイルを削除しても、バックアップ先のファイルは削除されません。
・上書きバックアップ（差分バックアップ）	1 度目に全てのデータを、2 度目に差分データのみをバックアップします。バックアップ元でファイルを削除すると、バックアップ先のファイルも削除されます。

9. [バックアップフォルダー］の［追加］をクリックします。

10. バックアップ元を TeraStation の[share]フォルダーに、バックアップ先を［usbdisk1］に指定し、[追加］をクリックします。

11. バックアップ元フォルダーとバックアップ先フォルダーが表示されます。［設定］をクリックします。

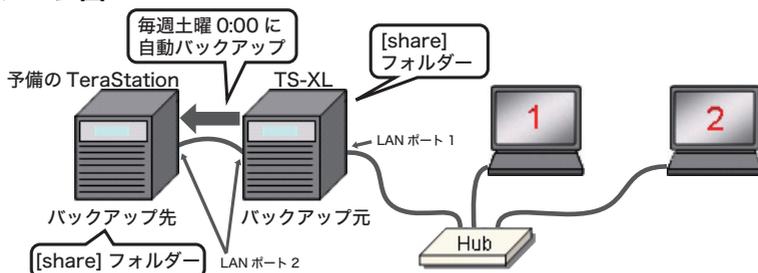
12. ［バックアップ］画面に追加したタスクが表示されます。

13. 以上で設定は終了です。設定画面をログアウトします。

14. 指定の日時に、自動的にバックアップが実施されます。

2.2　予備の TeraStation を増設し、TeraStation のデータを定期的にバックアップするには

TeraStation に、予備の TeraStation を増設し、バックアップを行います。ここでは、1 台目を［バックアップ元 TeraStation］、予備を［バックアップ先 TeraStation］と表記します。[バックアップ元 TeraStation] の [share] フォルダーから [バックアップ先 TeraStation］の［share］フォルダーへ、指定した日時に、自動的にバックアップを行う設定について説明します。

■イメージ図

≪ご注意≫

バックアップ機能では、バックアップ元の TeraStation の設定情報（パスワード・アクセス制限など）を予備用 TeraStation へ復元することはできません。TeraStation の設定情報を復元するために、［NAS 設定保存・復元ツール］の併用をお勧めします。【P.37 参照】

≪補足≫

TeraStation には、ふたつの LAN ポートが用意されています。
LAN ポート 1 は、通常のネットワークにつなぎます。LAN ポート 2 は、バックアップやレプリケーション機能で利用する予備の TeraStation につなぎます。
LAN ポート 2 で接続された 2 台の TeraStation は、通常のネットワーク（LAN ポート 1 のネットワーク）と異なるセグメントに設定する必要があります。

【手順１】バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート２を変更します

TeraStation の初期設定を行い、パソコンから TeraStation を操作できる環境を整えます。
以降の設定をスムーズに行うために、各 TeraStation の IP アドレス・名称などを記録することをお勧めします。

1. バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート１と Hub をつなぎます。

2. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

TeraStation アイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。
※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. ［ネットワーク］-［ネットワーク］をクリックし、設定変更をクリックします。

7. ［イーサーネット２］をチェック、[DHCP］を［使用しない］にチェックをいれ、IP アドレスを入力します。［保存］をクリックします。

※ LAN ポート 1 とは異なるセグメントを指定してください。
例 LAN ポート 1：　192.168.11.1
　LAN ポート 2：　192.168.12.1

8. ［設定が完了しました］と表示されます。

以上で､バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 2 の設定変更は完了です。
ブラウザー右上の [×] をクリックし、設定画面を終了します。

【手順２】バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 2 を変更します

1. バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 1 と Hub を LAN ケーブルでつなぎます。

2. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

TeraStation アイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。
※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

4. **ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。**
初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. **TeraStation の設定画面が表示されます。**

6. **[ネットワーク] - [ネットワーク] をクリックし、設定変更をクリックします。**

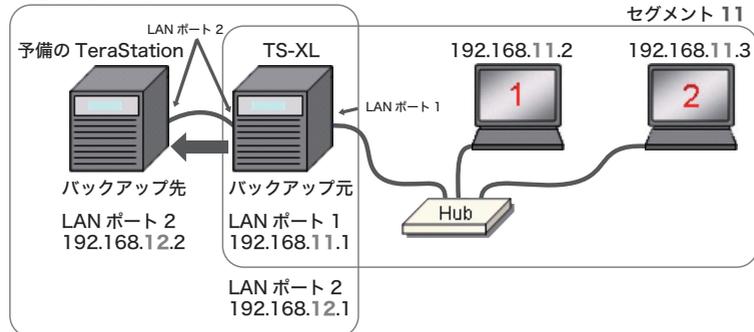
7. ［イーサーネット 2］をチェック、［DHCP］を［使用しない］にチェックをいれ、IP アドレスを入力します。［保存］をクリックします。

※バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 2 と同じセグメント、
　かつ、異なる末尾の番号を指定してください。
例バックアップ元 LAN ポート 2：192.168.12.1
　バックアップ先 LAN ポート 2：192.168.12.2

8. ［設定が完了しました］と表示されます。

以上で、バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 2 の設定変更は完了です。
ブラウザー右上の [×] をクリックし、設定画面を終了します。

9. LAN ケーブルの配線を元にもどし、通常通り TeraStation を運用してください。

※バックアップ先 TeraStation の「share」フォルダーの設定変更が必要です (共有フォルダー設定画面の [公開先] にて [バックアップ] にチェック)。

【手順３】TeraStation の共有フォルダーを追加し、パソコンからアクセスします

1. **TeraStation（バックアップ元）背面の LAN ポート２に、予備の TeraStation（バックアップ先）を接続します**

2. **パソコンで NAS Navigator2 を起動します。**

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

TeraStation アイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。
※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、[Web 設定を開く］をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. [システム] - [バックアップ] をクリックします。

7. [バックアップ設定] - [バックアップタスクの追加] をクリックします。

※バックアップの設定は最大 8 個まで設定できます。ここでは個々の設定をタスクと案内しています。

8. バックアップタスク設定を行います。

タスク名	バックアップタスクの名称を指定します。
バックアップ実行スケジュール	バックアップを行うスケジュールを、[毎日][毎週][第 1]などから選択します。
バックアップ実行日時	バックアップを実行する曜日や時刻を選択します。
バックアップ動作モード	バックアップ動作モードを下記から選択します。
・通常バックアップ	全てのファイルがバックアップされます。
・上書きバックアップ(増分バックアップ)	1 度目に全てのデータを、2 度目に増分データのみをバックアップします。バックアップ元でファイルを削除しても、バックアップ先のファイルは削除されません。
・上書きバックアップ(差分バックアップ)	1 度目に全てのデータを、2 度目に差分データのみをバックアップします。バックアップ元でファイルを削除すると、バックアップ先のファイルも削除されます。

9. [バックアップフォルダー] の [追加] をクリックします。

10. バックアップ元を TeraStation（バックアップ元）の [share] フォルダーに、バックアップ先を予備の TeraStation（バックアップ先）の [share] フォルダーに指定し、[追加] をクリックします 。

11. バックアップ元フォルダーとバックアップ先フォルダーが表示されます。[設定] をクリックします。

12. [バックアップ] 画面に追加したタスクが表示されます。

13. 以上で設定は終了です。設定画面をログアウトします。

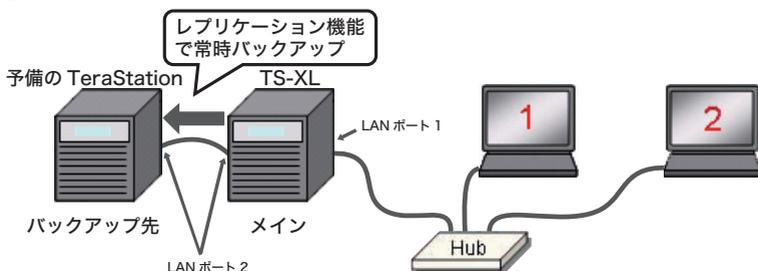
14. 指定の日時に、自動的にバックアップが実施されます。

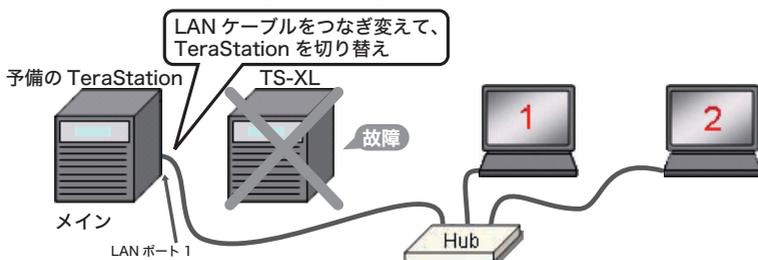
3. レプリケーション

3.1　予備の TeraStation に常時バックアップ（レプリケーション）するには

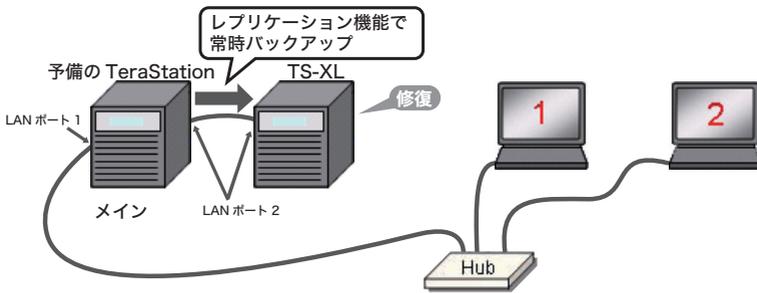
TeraStation の［レプリケーション機能］を利用すると、万が一 TeraStation が故障しても､予備の TeraStation（以下バックアップ先 TeraStation）に LAN ケーブルをつなぎかえることで、TeraStation を切り替えて運用できます。
ここでは、レプリケーション機能の設定方法を説明します。

■レプリケーション機能の設定

メインの TeraStation にバックアップ先 TeraStation を増設し、レプリケーション機能を設定します。

■メインが不調のときは

バックアップ先 TeraStation をメインに切り替えて利用できます。

《ご注意》
レプリケーションに対応した TeraStation については
下記ホームページにてご確認ください。
http://buffalo.jp/products/catalog/storage/hd_lan_business.html

■元メインの TeraStation 修復後

再度レプリケーション設定を行い、バックアップ先の TeraStation として利用できます。

≪ご注意≫
バックアップ先 TeraStation のフォルダーにはメインの TeraStation の差分データが上書きコピーされます。
メインの TeraStation から削除されたデータは、バックアップ先 TeraStation からも削除されますので、ご注意ください。

≪補足≫
TeraStation には、ふたつの LAN ポートが用意されています。
LAN ポート 1 は、通常のネットワークにつなぎます。LAN ポート 2 は、バックアップやレプリケーション機能で利用する予備の TeraStation につなぎます。
LAN ポート 2 で接続された 2 台の TeraStation は、通常のネットワーク（LAN ポート 1 のネットワーク）と異なるセグメントに設定する必要があります。

【設定１】レプリケーション機能を設定する前に

レプリケーション機能では、メインの TeraStatioin のデータのみバックアップ先の TeraStation に保存されます。
不調時にすみやかにバックアップ先 TeraStation へ切り替えるために、下記の手順を実行し、設定情報を復元できるよう準備しておくことをお勧めします。

1. 必要に応じ、管理者パスワード・ユーザー登録・アクセス権限などの設定情報を登録します。

2. メインの TeraStation とバックアップ先の TeraStation の LAN ポート 2 を、LAN ポート 1 と異なるセグメントに設定します。【P.45 参照】

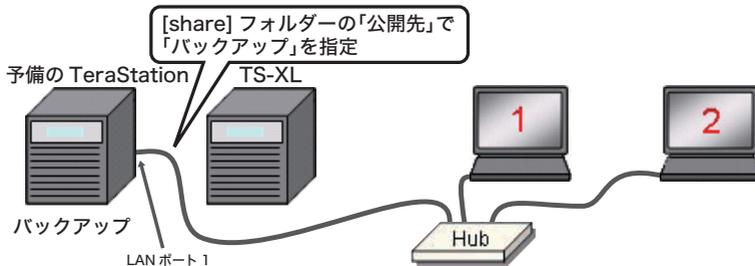
3. ［NAS 設定保存・復元ツール］を利用して、メインの TeraStation の設定情報をパソコンに保管します。【P.37 参照】

4. **バックアップ先 TeraStation のハードディスクの使用モード（RAID構成）を、メインの TeraStation と同じ設定にします。バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 1 と Hub をつなぎます。**

※ RAID 構成を作り直した場合は、「share」フォルダーを作成し直す必要があります。

【設定２】レプリケーション機能を設定します

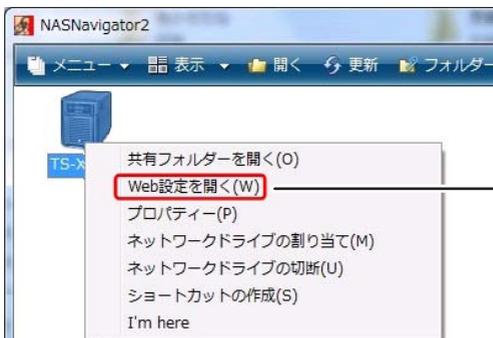
ここでは、メインの TeraStation の［share］フォルダーからバックアップ先 TeraStation の［share］フォルダーへレプリケーション機能を設定する手順を説明します。

1. **バックアップ先 TeraStation の［share］フォルダーの［公開先］で［バックアップ］を選択します。バックアップ先 TeraStation の LAN ポート 1 と Hub を有線 LAN ケーブルでつなぎます。**

2. **パソコンで NAS Navigator2 を起動します。**

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. バックアップ先 TeraStation の設定画面を表示します。

※MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、[Web 設定を開く］ をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

「RAID 構成を作り直した場合は、「share」フォルダーを作成し直す必要があります。」

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. TeraStation の設定画面が表示されます。

7. [公開先] で [バックアップ] を選択します。[バックアップ公開パスワード] で、パスワードを削除します。

8. [share] フォルダーがバックアップ用に設定されました。

9. バックアップ先 TeraStation の LAN ポート 2 を変更します。【P.45 参照】

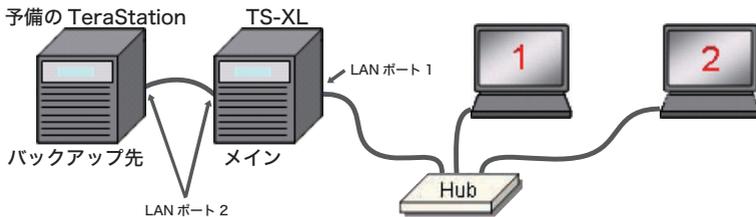
10. バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 1 の IP アドレスを記録します。

バックアップ先の TeraStation で、液晶パネル右上の［Display］ボタンを何回か押します。
表示内容が切り替わり、IP アドレスが表示されますので、記録し、紛失しないよう大切に保管してください。

※バックアップ先の TeraStation の IP アドレスは、レプリケーション機能を使って バックアップ先 TeraStation をメインに切り替える際に必要です。

11. ブラウザー右上の [×] をクリックし、設定画面を閉じます。

12. メインの TeraStation で、レプリケーション機能を設定します。

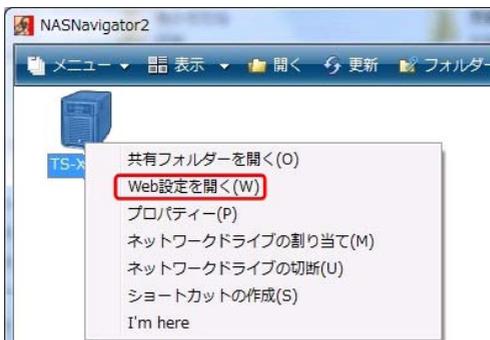
メインの TeraStation の LAN ポート 1 を Hub につなぎます。
バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 1 を Hub から外します。
メインの TeraStation の LAN ポート 2 と、バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 2 を、LAN ケーブルでつなぎます。

13. メインの TeraStation で、レプリケーション機能を設定します。

NAS Navigator2 で［更新］をクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

14. メインの TeraStation の設定画面を表示します。

メインの TeraStation のアイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

※ MAC では、コントロールキーを押しながらメインの TeraStation アイコンをクリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

15. **ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。**
初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

16. **メインの TeraStation の設定画面が表示されます。**
[システム] - [バックアップ] - [レプリケーション] - [保存] をクリックします。

17. **レプリケーション元に、メインの TeraStation の[share]フォルダーを指定します。**
レプリケーション先に、バックアップ先 TeraStation の [share] フォルダーを指定します。[保存] をクリックします。

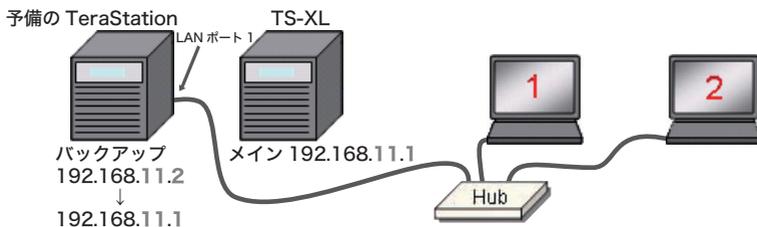
18. 警告メッセージが表示されます。

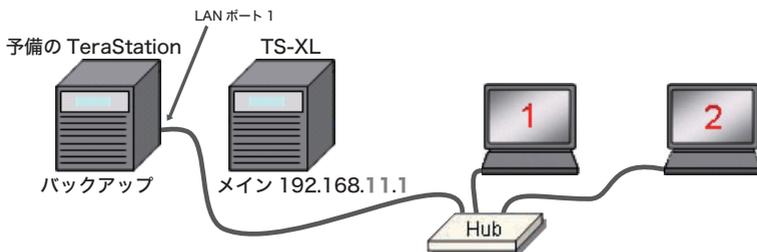
内容をよく読んでから、[OK] をクリックします。

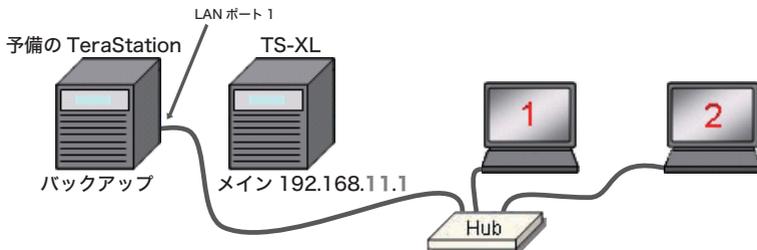
19. バックアップ先の [share] フォルダーがレプリケーション先に設定されました。

以上でレプリケーション機能の設定は終了です。

3.2　メインの TeraStation から予備の TeraStation に切り替えて使用するには（レプリケーション機能・切替え）

ここでは、[レプリケーション機能] で運用している予備の Terastation（以下、バックアップ先 TeraStation）を、メインの TeraStation に切り替える手順を説明します。

1. **メインの TeraStation の LAN ポート 1・2 から LAN ケーブルを外します。**

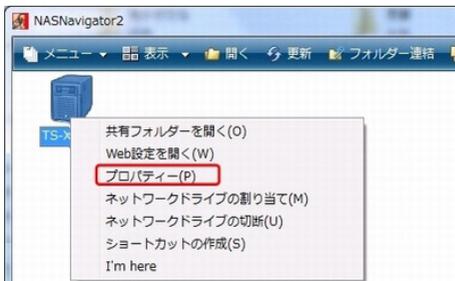
2. **バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 1 と Hub を LAN ケーブルでつなぎます。**

3. **メインの TeraStation が利用していた IP アドレスを手元に用意します。**

4. パソコンからバックアップ先の TeraStation にアクセスし、メインの TeraStation が利用していた IP アドレスに変更します。

5. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

6. TeraStation の設定画面を表示します。

TeraStation アイコンを右クリックし、［プロパティー］をクリックします。
※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、［プロパティー］をクリックします。

7. [IP アドレス]タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得する]のチェックを外します。

メインの TeraStation が利用していた IP アドレスを入力します。
必要があれば、サブネットマスク・デフォルトゲートウウェイを入力します。
[OK]をクリックします。

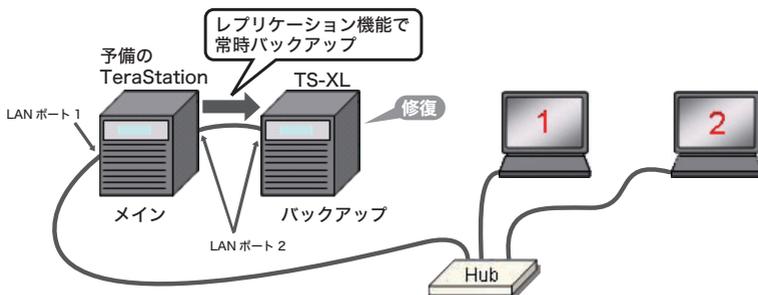
8. 以上で、バックアップ先 TeraStation がメインの TeraStation に切り替わりました。

9. NAS 設定保存・復元ツールを利用して、元メインの TeraStation の設定情報を保管している場合は、設定情報を現在のメインの TeraStation に復元することをお勧めします。【P.37 参照】

3.3　元メインの TeraStation が復帰した際に再度レプリケーション機能に設定するには

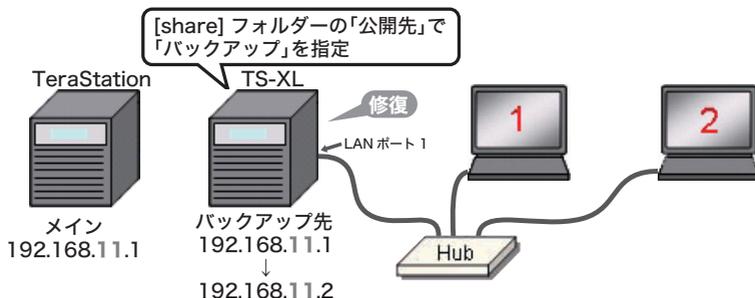
元メインの Terastaion が不調となり、［レプリケーション機能］で運用していた予備の Terastation をメインの TeraStation に切り替えて使っていました。
今回、元メインの TeraStation を修復したので、これを予備の TeraStation として設定する手順を説明します。

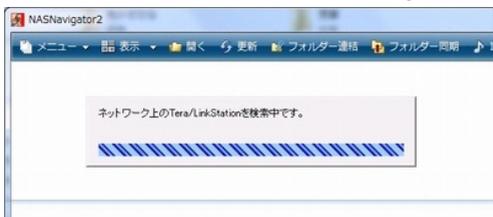
■元メインの TeraStation 修復後

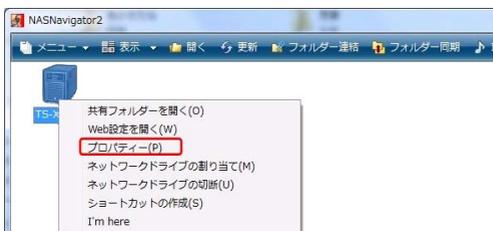
再度レプリケーション設定を行い、バックアップ先の TeraStation として利用できます。

1. メインの TeraStation の IP アドレスを確認します。

液晶右上の［Display］ボタンを何回か押してください。
表示内容が切り替わり、IP アドレスが表示されますので、記録しておきます。

2. バックアップ先 TeraStation の IP アドレスを設定します。

メインの TeraStation から LAN ケーブルを外し、バックアップ先 TeraStation の LAN ポート 1 と Hub を接続します。

3. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

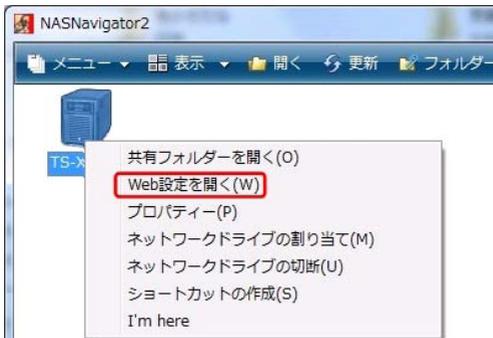
デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

4. TeraStation アイコンを右クリックし、［プロパティー］をクリックします。

5. ［IP アドレス］タブをクリックし、［IP アドレスを自動的に取得する］のチェックを外します。

IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。
※ IP アドレスは、メインの TeraStation と同じセグメント、かつ、異なる末尾の番号を指定してください。
例）メインの TeraSTation　192.168.11.1
　バックアップ先の TeraStation　192.168.11.2
※［XXX］には、適切な IP アドレスを入力します。

※管理者用パスワードの入力をもとめられたら、［password］と入力します。

6. **つづいて、[NAS Navigator2] で、バックアップ先 TeraStation アイコンを右クリックし、[Web 設定を開く] をクリックします。**

※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、[Web 設定を開く] をクリックします。

7. **ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。**
初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

8. **TeraStation の設定画面が表示されます。**

9. TeraStation の設定画面が表示されます。

［share］フォルダーをクリックし、設定画面に入ります。

10. ［公開先］で［バックアップ］を選択します。

[バックアップ公開パスワード] に文字が入力されている場合、文字を削除します。

11. ［share］フォルダーがバックアップ用に設定されました。

12. バックアップ先 TeraStation の LAN ポート 2 を変更します。

【P.45 参照】

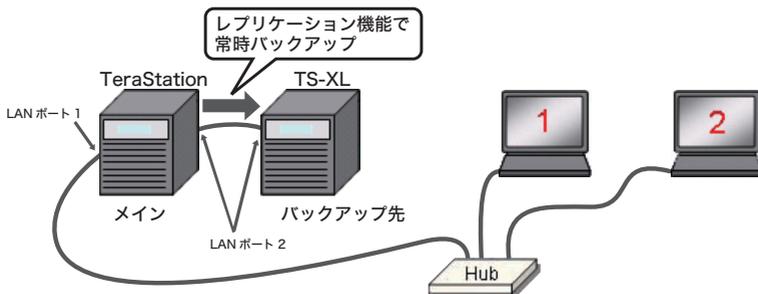
13. バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 1 の IP アドレスを記録します。

バックアップ先の TeraStation で、液晶パネル右上の［Display］ボタンを何回か押します。
表示内容が切り替わり、IP アドレスが表示されますので、記録し、紛失しないよう大切に保管してください。

※バックアップ先の TeraStation の IP アドレスは、レプリケーション機能を使ってバックアップ先 TeraStation をメインに切り替える際に必要です。

14. ［ログアウト］をクリックし、設定画面を閉じます。

15. メインの TeraStation の LAN ポート 1 を Hub につなぎます。

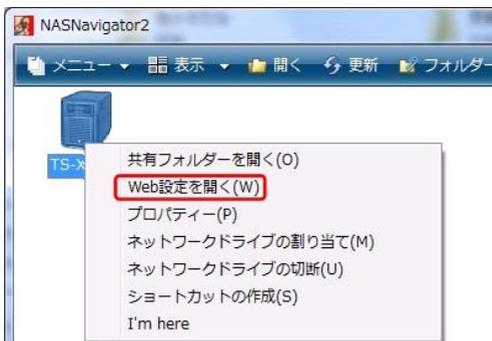
バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 1 を Hub から外します。
メインの TeraStation の LAN ポート 2 と、バックアップ先の TeraStation の LAN ポート 2 を、LAN ケーブルでつなぎます。

16. メインの TeraStation で、レプリケーション機能を設定します。

NAS Navigator2 で［更新］をクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

17. メインの TeraStation の設定画面を表示します。

メインの TeraStation のアイコンを右クリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

※ MAC では、コントロールキーを押しながらメインの TeraStation アイコンをクリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

18. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

19. メインの TeraStation の設定画面が表示されます。

［システム］-［バックアップ］-［レプリケーション］-［保存］をクリックします。

20. レプリケーション元に、メインの TeraStation の［share］フォルダーを指定します。

レプリケーション先に、バックアップ先 TeraStation の［share］フォルダーを指定します。
［保存］をクリックします。

21. 警告メッセージが表示されます。

内容をよく読んでから、［OK］をクリックします。

22. バックアップ先の［share］フォルダーがレプリケーション先に設定されました。

以上でレプリケーション機能の設定は終了です。

23. ログアウトをクリックし、設定画面を終了します。

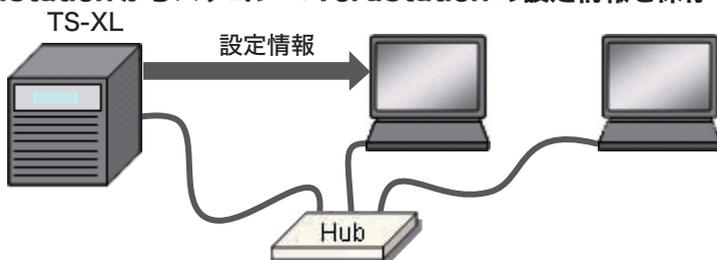
24. [NAS 設定保存・復元ツール] を使って、メインの TeraStation の設定情報を保存しておくことをお勧めします。【P.37 参照】

4. NAS 設定保存・復元ツール

4.1　TeraStation の設定情報を他の TeraStation にコピーしたり、故障したときに復帰するには

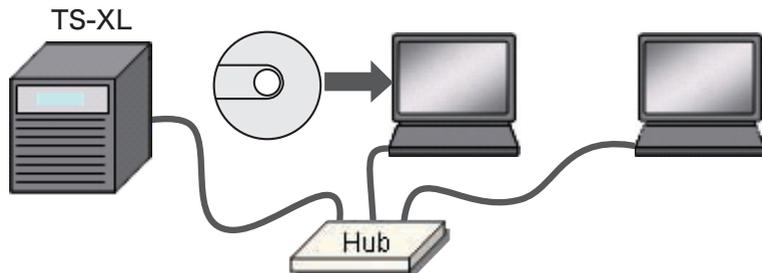
TeraStation の設定情報には、共有フォルダー・ユーザー・グループのアクセス権限、バックアップやレプリケーションの設定などが保存されています。TeraStation の設定が完了したら、NAS 設定保存・復元ツールを使って、設定情報をファイルに書き出し、保管しておくことをお勧めします。
他の TeraStation に同じ設定情報をコピーしたいとき、レプリケーション機能で TeraStation を切換えるとき、万一 TeraStation が故障し RAID の再構築を行ったときなどに、保管しておいた設定情報を TeraStation に復元することができます。

≪ご注意≫
NAS 設定保存・復元ツールは、データの保存・復元を行いません。万一の故障にそなえて、データのバックアップをとる、または、他の TeraStation へ切り替えて使用する（レプリケーション機能）を併用することをお勧めします。

■ TeraStation からパソコンへ TeraStation の設定情報を保存

■パソコンから TeraStation へ設定情報を復元

【手順1】TeraStation からパソコンへ設定情報を保存します

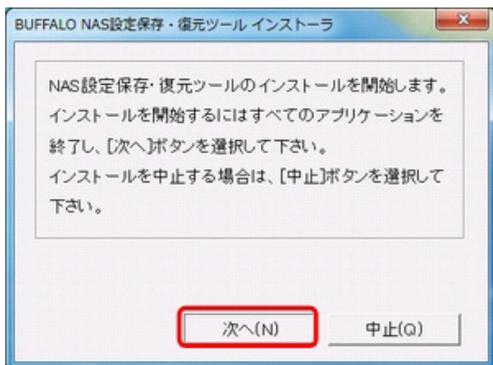
1. **[NAS 設定保存・復元ツール] を、パソコンにインストールします。**

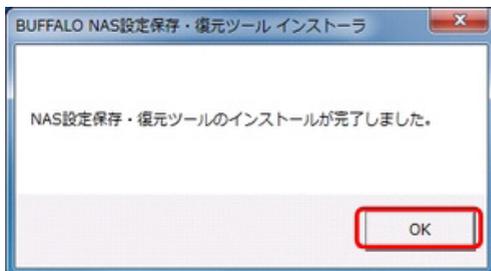
パソコンにユーティリティ CD をセットします。

2. **Tera Navigator が起動したら、[オプション] → [ソフトウェアの個別インストール] の順にクリックします。**

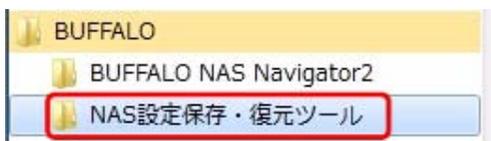
※古いバージョンの NAS 設定保存・復元ツールを使用していた場合、アンインストールしてから行ってください。

3. **[NAS 設定保存・復元ツール] を選択し、[インストール開始] をクリックします。**

4. **[NAS 設定保存・復元ツール] のインストール画面が起動します。**

画面の指示にしたがって、インストールしてください。

※ [NAS 設定保存・復元ツール] をアンインストールするときは [スタート] - [(すべての) プログラム] - [BUFFALO] - [NAS 設定保存・復元ツール] - [アンインストーラ] をクリックし、画面の指示にしたがってアンインストールしてください。

5. [NAS 設定保存・復元ツール] のインストールが完了します。[OK] をクリックして、終了します。

6. つづいて、TeraStation の設定情報をパソコンに保存します。

[スタート] - [プログラム] - [BUFFALO] - [NAS 設定保存・復元ツール] - [NAS 設定保存・復元ツール] を
クリックします。

7. [NAS 設定保存・復元ツール] が起動します。対象の TeraStation を選択し、[保存] をクリックします。

※ TeraStation・LinkStation を複数台つかっている場合は、誤って他の TeraStation・LinkStation を指定しないよう、注意してください。

8. 保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

※ファイル名について
　自動的に下記のファイル名となります。ファイル名は変更可能です。
　TeraStation の名称 _ 日付 _ 時刻 .nas_config

9. 対象の TeraStation の admin パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

10. 設定の保存が完了したら、[OK] をクリックします。

※ nas_config ファイルをセキュリティー保護するため、復元するときのパスワードを入力し、[設定] をクリックしてください。

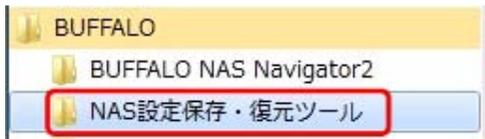
11. 以上で、TeraStation の設定情報の保存は完了です。設定ファイルとパスワードは、大切に保管してください。

【手順２】パソコンから TeraStation へ設定情報を復元します

《ご注意》

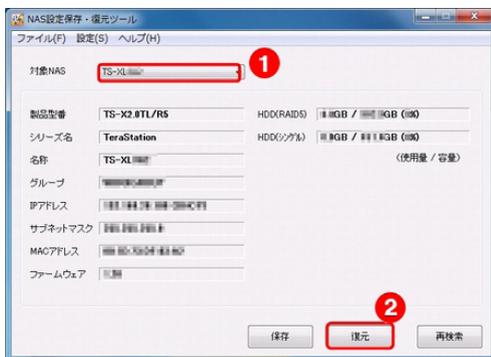
・復元設定を誤ったり、nas_config ファイルの元となった TeraStation の設定によっては、復元を実施した TeraStation が起動できなくなることがあります。復元を行う前に、復元先や設定の内容など十分に確認してください。
・復元によって TeraStation のディスク構成（※RAID 構成など）の変更がおこなわれる場合、復元先 TeraStation のフォルダーやファイルなどの既存データは全て削除されます。復元を行う際にはご注意ください。
・ユーザ・グループの復元を行う場合、復元後の TeraStation の管理者パスワードは、nas_config ファイルの元となった TeraStation の管理者パスワードに変更されます。管理者パスワードを忘れると TeraStation の設定の変更が行えなくなります。パスワードを忘れないようご注意ください。
・ユーザ・グループの復元を行う場合、復元先 TeraStation の既存の共有フォルダーに設定されているアクセス制限は全て削除されます。
・NAS 設定保存・復元ツールを使用するには、対象となる TeraStation の共有フォルダーにアクセスできる必要があります。TeraStation の設定画面で[ネットワークサービス］の［SMB］の有効 / 無効を設定できる製品、[ユーザー］ - ［guest] の有効 / 無効を設定できる製品では、有効になるよう設定してください。
・復元前と復元後の管理者パスワードが異なる場合、復元の実行中に復元後の管理者パスワードを入力する必要があります。

1. パソコンで NAS 設定保存・復元ツールを起動します。

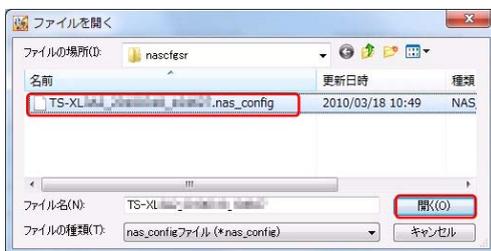
[スタート] - [(すべての) プログラム] - [BUFFALO] - [NAS 設定保存･復元ツール] - [NAS 設定保存・復元ツール］をクリックします。

2. NAS 設定保存・復元ツールが起動します。

設定を復元したい TeraStation を選択し、[復元] をクリックします。

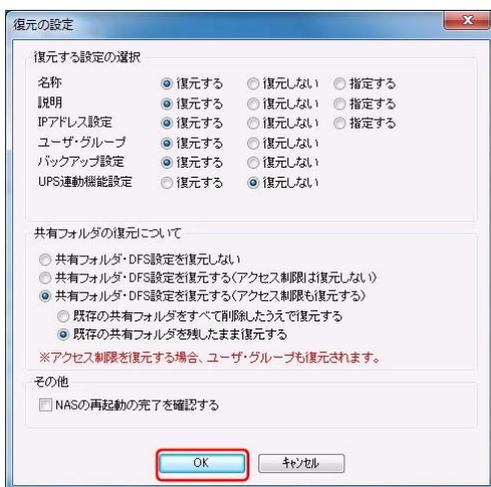
《ご注意》

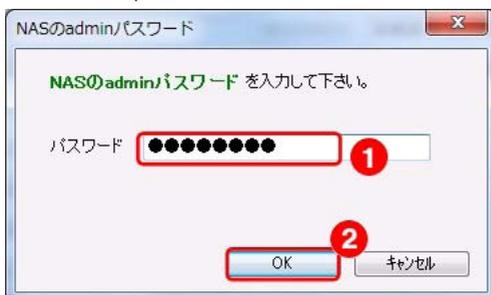
TeraStation・LinkStation を複数台つかっている場合は、誤って他の TeraStation・LinkStation を指定しないよう、注意してください。
特に、設定情報を取得したときと異なる RAID 構成の TeraStation や LinkStation に対して復元を行うと、復元先の TeraStation・LinkStation のデータが消去されたり、起動できなくなったりします。

3. 復元する設定情報のファイルを選択し、[開く] をクリックします。

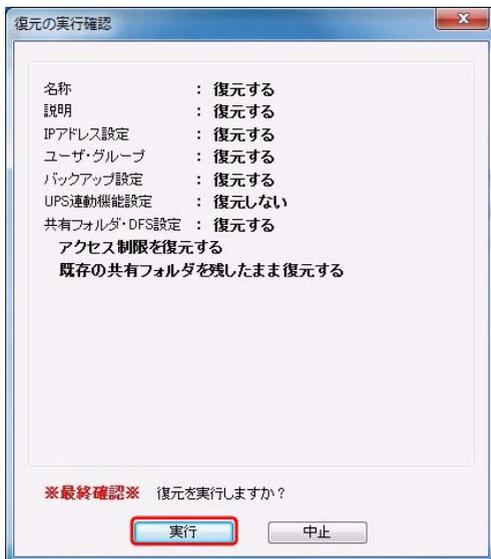
《ご注意》

TeraStation・LinkStation を複数台つかっている場合は、誤って他の TeraStation・LinkStation の設定情報のファイルを指定しないよう、注意してください。

4. nas_config ファイル保存時に設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

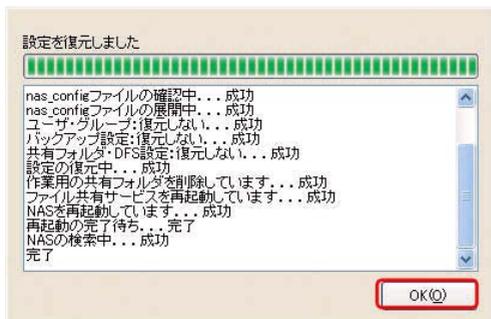
※パスワードを設定しなかった場合は、この画面は表示されません。

5. 復元する設定をチェックし、[OK] をクリックします。

6. 対象の TeraStation の管理者用パスワードを入力します。

初期設定は［passward］です。［OK］をクリックします。

7. [復元の実行確認] 画面が表示されます。

内容に誤りがないことを確認し、[実行] をクリックします。

※ [確認] をクリックすると、[名称] [説明] [IP アドレス] を確認できます。

8. 設定情報の復元がはじまります。

[設定を復元しました] と表示されたら、設定情報の復元は完了です。[OK] をクリックします。

9. 以上で、パソコンに保存しておいた設定情報が、TeraStation に復元されました。

5. LAN ポート 2 の IP アドレス変更

5.1　LAN ポート 2 の IP アドレスを変更したい

TeraStation には、ふたつの LAN ポートが用意されています。
LAN ポート 1 は、通常のネットワークにつなぎます。LAN ポート 2 は、バックアップやレプリケーション機能で利用する予備の TeraStation につなぎます。
LAN ポート 2 で接続された 2 台の TeraStation は、通常のネットワーク（LAN ポート 1 のネットワーク）と異なるセグメントに設定する必要があります。
ここでは、LAN ポート 2 の設定を変更する方法を説明します。

■イメージ図

【手順 1】バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 2 を変更します

TeraStation の初期設定を行い、パソコンから TeraStation を操作できる環境を整えます。
以降の設定をスムーズに行うために、各 TeraStation の IP アドレス・名称などを記録することをお勧めします。

1. バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 1 と Hub をつなぎます。

2. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、［Web 設定を開く］をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. [ネットワーク] - [ネットワーク] をクリックし、設定変更をクリックします。

7. [イーサーネット2] をチェック、[DHCP] を [使用しない] にチェックをいれ、IP アドレスを入力します。[保存] をクリックします。

※ LAN ポート 1 とは異なるセグメントを指定してください。
例 LAN ポート 1　192.168.11.1
　LAN ポート 2　192.168.12.1

8. ［設定が完了しました］と表示されます。

以上で、バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 2 の設定変更は完了です。
ブラウザー右上の [×] をクリックし、設定画面を終了します。

【手順２】バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 2 を変更します

1. バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 1 と Hub を LAN ケーブルでつなぎます。

2. パソコンで NAS Navigator2 を起動します。

デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
※ MAC では、［Dock］内の［NAS Navigator2］アイコンをクリックします。

［NAS Navigator2］が起動し、ネットワーク上の TeraStation を自動検索します。

3. TeraStation の設定画面を表示します。

※ MAC では、コントロールキーを押しながら TeraStation アイコンをクリックし、[Web 設定を開く］ をクリックします。

4. ブラウザーが起動します。ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

初期設定では、ユーザー名 admin、パスワード password に設定されています。

5. TeraStation の設定画面が表示されます。

6. [ネットワーク]-[ネットワーク]をクリックし、設定変更をクリックします。

7. ［イーサーネット 2］をチェック、［DHCP］を［使用しない］にチェックをいれ、IP アドレスを入力します。［保存］をクリックします。

※バックアップ元（メイン）TeraStation の LAN ポート 2 と同じセグメント、
かつ、異なる末尾の番号を指定してください。
例バックアップ元 LAN ポート 2　192.168.12.1
　バックアップ先 LAN ポート 2　192.168.12.2

8. ［設定が完了しました］と表示されます。

以上で、バックアップ先（予備）TeraStation の LAN ポート 2 の設定変更は完了です。
ブラウザー右上の [×] クリックし、設定画面を終了します。

9. LAN ケーブルの配線を元にもどし、通常通り TeraStation を運用してください。